

【抗インフルエンザ薬の治療フロー（成人の場合）】

監修 感染防止対策室 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）
 2024.12作成 薬剤部 天野多詠、森良江、山崎貴之
 2026.4改訂 参照：添付文書、日本感染症学会HP、日本透析医学会ガイドライン
 国立成育医療センターHP

治療

内服薬

**オセルタミビルCap75mg/
オセルタミビルDS**

1回75mg 1日2回 5日間

Cap：1,080円/ DS：1,897.5円

※腎機能に応じて用量調整必要

Ccr>30： 1回75mg 1日2回

10<Ccr≤30：1回75mg 1日1回

Ccr≤10： 推奨しない

他剤の使用が困難な透析患者：1回75mg単回

価格重視

吸入薬

リレンザ5mg

1回10 mg(2^プ リスター) 1日2回 5日間 **2,028円**

【慎重投与】 喘息患者

非重症

重症

注射薬

ラピアクタ点滴静注300mg

300mg 15分以上かけて投与 **6,197円**

※重症例、重症化リスク高い場合

600mg 15分以上かけて連日投与

※腎機能に応じて用量調整必要

治療回数重視

ゾフルーザ錠20mg

80kg以上：80mg 単回 **9,755.2円**

80kg未満：40mg 単回 **4,877.6円**

【慎重投与】 重度肝機能障害

イナビル吸入用粉末20mg

1回40mg(2本) 単回 **2,969.8円**

【慎重投与】 喘息患者

腎機能	1回投与量	
	通常量	重症化リスク高い場合
Ccr≥50	1回300mg	1回600mg
30≤Ccr<50	1回100mg	1回200mg
10≤Ccr<30	1回50mg	1回100mg
Ccr<10	推奨しない	
HD	初回100mg、以後透析後2時間後に100mg追加	

※非重症例で内服・吸入困難例はラピアクタ点滴静注300mgを推奨

※妊婦では胎児への影響が少なく安全なオセルタミビル、リレンザ、イナビルが推奨される

予防【自費診療】

内服薬

オセルタミビルCap75mg/オセルタミビルDS

1回75mg 1日1回 7～10日間

Cap：756～1,080円

DS：1,328.25～1,897.5円

※腎機能に応じて用量調整必要

Ccr>30： 1回75mg 1日1回

10<Ccr≤30：1回75mg 隔日

Ccr≤10： 推奨しない

他剤の使用が困難な透析患者：

初回75mg、

長期予防が必要な場合5日後に75mg追加

吸入薬

リレンザ5mg

1回10 mg(2^プ リスター) 1日1回 10日間 **2,028円**

イナビル吸入用粉末20mg

1回40mg(2本) 単回 **2,969.8円**

もしくは

1回20mg(1本) 1日1回 2日間 **2,969.8円**

※金額は2026.4時点の薬価を基に総治療日数で試算